

## 「診断事例優秀賞」の新設について (ご案内)

この度、従来からの規定に基づく「学会賞」、「大学院生表彰(優秀賞)」に加えて、標記の表彰制度が平成20年秋期に開催される大会から実施されることになりました。会員各位におかれましては、奮って診断事例研究の大会発表に挑戦してください。

なお、従来どおり、「学会賞」並びに「大学院生表彰(優秀賞)」にも積極的に応募もしくは大会発表への積極的な申し込みを期待します。とくに学生研究や診断事例研究以外の学術研究等については、既存の「学会賞」にご応募されるようお願いいたします。過去に著書でなく、論文にて応募し受賞した人もおられます。「学会賞」への応募は、昨年6月から本年5月末日までに刊行された著書または論文を3部添えて「学会賞応募」と朱記のうえ、当学会事務局に本年6月末日までにご送付ください。

標記診断事例表彰の審査対象、審査項目および申し込み方法等は、下記のとおり。

### 記

#### 1, 審査対象

審査対象は、当学会における会員で、大会にて指定の「診断事例」セッションで報告(事前  
に大会予稿集に報告原稿を提出)し、かつ審査を希望する個人会員(共同研究含む)とします。

#### 2, 審査項目

審査(大会発表)は、下記の4項目にて総合評価して行います。

- ①実用性：診断実務の面で有用で、他の診断に役立つか。診断の項目・方法が明確か。
- ②新規・独自性：診断対象が明確で、視座、視点などのオリジナリティがあるか。
- ③論理性：論理の整合性・網羅性(体系)が保たれているか。
- ④説得性：分かり易さ、訴求、データ活用などのプレゼンテーションが優れているか。

#### 3, 申し込み時期と方法

毎年4月頃に送付される「大会研究報告申込書」(「資料4」参照)に必要事項を記入してお申し込みください。その際、「希望報告分野」覧には、必ず「診断事例報告」に○印を付けてお出してください。新設の当該表彰制度による審査並びに表彰を辞退し、報告のみ行うことも可能です。

#### 4, 表彰の時期と寄稿

表彰状の授与は、院生表彰とともに、その大会最終日の表彰状授与式にて行う。被表彰者は、「学会誌」(要約)とともに、その後の当学会出版物にそれぞれ指定の様式等で寄稿していただくこととなります(詳細は毎年数回発刊・送付される「学会誌」を参照)。

以 上

## 日本経営診断学会大会研究報告申込書(様式)

日本経営診断学会 第		回全国大会 研究報告申込書	
フリガナ 氏名(代表者)		所属機関	
共同報告者		所属機関	
共同報告者		所属機関	
代表者連絡先	〒  Tel :  E-mail :		
希望報告分野(該当するものに○印をつけて下さい)	統一論題報告・診断基礎理論報告・自由論題報告・ <u>大学院生</u> 報告・ 診断事例報告(※表彰=辞退)・共同プロジェクト研究報告		
報告テーマ	(主題)  (副題)		
報告要旨(問題意識、論点、視点等を400字程度でおまとめください。紙幅が足りない場合は、他の用紙をご使用いただいて結構です。書式は問いません。)			
特記事項	(報告のためのパワーポイント使用など要望事項があればご記入下さい)		

※:「診断事例報告」の場合、診断事例表彰制度にかかる審査並びに表彰を辞退される方のみ、上記( )内の「辞退」にも○印をつけて下さい。